

農薬の

# キング



稲麦蔬菜果樹の害虫駆除は

## キング乳剤 3.5%

### D. D. T. 乳剤

除虫菊粉

除虫菊工キス

石灰硫黄合剤



キング除虫菊工業株式会社  
和歌山縣 其島町 大阪堂ビル六階



## K. Y. K. ポーログラフ用保証試薬

Dioxane  
Tetramethyl ammonium bromide  
Tetramethyl ammonium chloride

今回京都大學農學部武居及館兩研究室の協同研究に依り新合成農薬 BHC 中の有効体である  $\gamma$ -BHC の定量がポーログラフに依り容易に實施出来るようになりましたことは劃期的な業績でありまして本誌 (p. 30~34) に發表された通りであります。

この定量法の正確度は報告の様に高性度でありまして、之に用います溶媒としての Dioxane 電解質としての Tetramethyl ammonium 鹽以外に最適のものは見出されません。と共に之等試薬の純度が非常に重要でありまして例えば Dioxane 中に含まれる aldehyde の量は銀鏡反應の様な従來知られた有機化學的定性法で測定出来る以上の微量でも有害であつて一々ポーログラフに依つて比較試験が行われなければなりません。

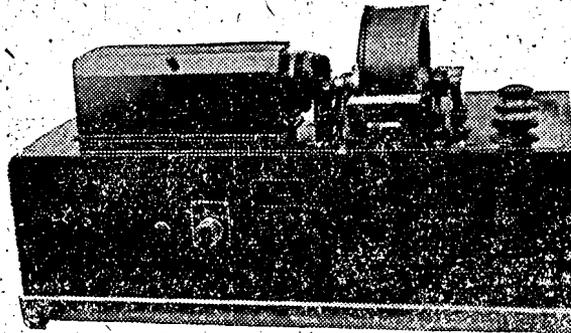
弊社製品の KYK ポーログラフ用保証試薬は上記兩研究室の御指導により周到な注意を以て合成し又精製して更に館研究室に於て嚴密なポーログラフ試験を経た後嚴封し保証票を附けたものであります。御使用に當つては特に取扱、保管に御注意願います。

猶品質保證に關する責任上本社より直接御購入下さる様御願ひ致します。

## 化研藥品工業株式會社

京都市中京區西ノ京南原町七番地  
電話 壬生 (84) 4683 番

ポーログラフ装置一式  
B. H. C. の定量装置  
其の他無機・有機の化合物分析装置



京都大學志方・館兩教授の御指導による  
本邦唯一の權威ある分析装置

京都株式會社 柳本製作所

營業所 中京區木屋町三條下ル

かように先生の仕事は主として害虫の生活史、生態の方面に力がそそがれたのであるが、實際的の害虫駆除の面をも決して忘れられた譯ではない。否そこにも先生の大きな業績のあとをうかがうことが出来るのである。ややともすれば實際に流れてしまい、理論的な面の必要性を忘れがちな方面に對して理論的研究の必要を示されたのは先生の御仕事であつた。青酸ガス燻蒸、石灰硫黄合劑の研究、二化螟虫浸水驅除の問題などは若き日の先生が熱情をかたむけられた仕事であり、ハナヒリノキの殺虫効果、クロールピクリン燻蒸の問題、乾熱による麥蛾の驅除などは後年の大きな御勞作である。

京都大學にはそれまでも2回にわたつて講師として農業昆虫學について講義をされたのであるが、昭和11年には教授として赴任せられた。その後、後進の指導に専念される傍、次々と研究の歩を進められた。キスチノミハムシ *Phyllotreta vittata* の生活史、その耐寒性、食性などの研究、セジロウカ *Sogota furcifera* 及びトビロウカ *Nilaparvata oryzae* の生態に関する研究、貯穀害虫の燻蒸劑に関する基礎的研究などを次々と

行われた。

昭和12年に京都大學内に防虫科學研究所が設立されるやその理事となられ、研究の指導を援助され、またその發展に大きな力を盡されたのである。

春川先生は現在の吾が國の生んだ最も卓越した應用昆虫學者である。その旺盛な研究心、するどいしかも正確な觀察力、中正な判斷力、それらの科學者として持つべきあらゆる條件を兼ね持たれた先生は最も秀でた科學者の一人でもある。そのやさしい御心、氣高い御人格、それらは更に先生を偉大ならしめている。

先生は京都大學を定年にて御退官後先生の第2の故郷とも言うべき倉敷に近い岡山縣高松の岡山農業専門學校長として、創設日なお浅い同校の發展にその力を専らかたむけておられる。戦時中いたためにおられた御体も、今や齡を新にせられて舊に倍するように御元氣である。

すべての先生を知る人に代つて、否すべての昆虫に關心をもつ人々を代表して、私はここに先生の御健康ならんことを心より祈るものである。

(内田俊郎記)

登録商標



農 林 省 認 定 農 藥

除 蟲 菊 粉  
除 蟲 菊 乳 劑  
除 蟲 菊 乳 劑 一・五%  
除 蟲 菊 乳 劑 三 %  
除 蟲 菊 エ キ ス

ライオン渦卷蚊取線香

大同除蟲菊株式會社

本社 和歌山縣有田郡箕島町箕島  
支店 大阪市南區末吉橋通三丁目新橋ビル  
箕島工場 和歌山縣有田郡箕島町箕島  
新堂工場 和歌山縣有田郡箕島町新堂  
星尾工場 和歌山縣有田郡保田村星尾

Steer, W. (1933). J. Pomol. 11; 19.  
 —— (1938). J. Pomol. 15; 338.  
 Stellwaag, F. (1931). Z. angew. Ent. 18; 118.  
 Strand, A. L. (1930). Industr. Engng. Chem. (Anal. Ed.), 2; 4.  
 Tattersfield, F. (1934). Ann. appl. Biol. 21; 691.  
 —— & Morris, H. M. (1924). Bull. ent. Res. 14; 223.  
 Thalenhorst, W. (1937). Z. angew. Ent. 23; 615.  
 Trappmann, W. & Nitsche, G. (1934). NachrBl. dtsh. PflSch-Dienst. 14; 51. (R. A. E. 1934, A. 22; 385.)  
 Tuma, V. (1938) Soap 14; (no.6). 109.  
 Zermuehlen, A. E. & Allen, T. C. (1936). Soap 12; (no. 6) 105.

昭和23年9月14日印刷 防虫科学 定價 100.00

昭和23年9月15日發行 第10號

主 幹 武 居 三 吉

京都市左京區北白川 京都大學農學部

發行所 財團法人 防虫科學研究協會

京都市左京區吉田町 京都大學内

編輯兼 内 田 俊 郎

發行所 京都市左京區北白川 京都大學農學部

賣場所 丸善株式會社 京都支店

京都市河原町通四條上ル

印刷者 伊 藤 兼 二

印刷所 中央印刷株式會社

配給元 日本出版配給統制株式會社

東京都千代田區淡路町2/9

長野縣岡谷市外三番

農業薬剤

アセピレ乳剤

農林省畜産局認定

きよらか

家畜用

専売特許

本剤はアセピレン類ピロリンの相乗効果による殺菌剤で優水発明品として特許標準局より助成金を受けてゐる強力なる新殺虫剤であります。

國産化学工業株式會社  
 岡山縣笠岡町

認 定 農 薬

ピレオール (除虫菊乳剤 3)  
 ピレサイド (除虫菊乳剤 1.5)  
 除虫菊エキスパウダー  
 除虫菊剤 20  
 D. D. T. 乳剤



月鹿印

月鹿殺虫剤 (植物ホルモン含有)  
 粉状ピレサイド  
 菊牡丹蚊取線香  
 インピレス

# 長岡駆蟲剤製造株式會社

本 社	神戸市生田区元町通五丁目
東京出張所	東京都千代田区神田錦町一ノ三ノ五
土山工場	兵庫県加古郡平岡村土山一七〇
田中工場	兵庫県武庫郡本山村田中
京都研究工場	京都市中京区西ノ京南原町七